

ふるさと  
キャリア教育多様な価値観との出会いを通して積極性や自尊感情を育む  
～CHA<sup>3</sup>(チャチャチャ)トークプログラムのご紹介～

CHA<sup>3</sup>(チャチャチャ)は、中学生が地域の方やちょっと身近な大人(大学生)と出会う機会(Chance)をつくり、大人や大学生と本音で語り合い、多様な価値観と出会うことで、自分を変え(Change)、少し先の目標を持つとともに、様々なことに挑戦(Challenge)する態度を養うことを目的としたトークプログラムです。鳥取県教育委員会では、学校と地域が主体となってCHA<sup>3</sup>を企画運営していくための支援を行っており、東部地区では各学校で地域のつながりや強みを活かしながらCHA<sup>3</sup>を実施してきました。今号外では、9月20日に実施した鳥取市立青谷中学校での様子を紹介します。

青谷中CHA<sup>3</sup>プログラム

## ②グループで緊張をほぐすミニゲーム。

## ③自己紹介

①大学生(卒業生)が、司会者として活躍。

⑥最後に振り返りを共有

⑤他の人の考えもじっくり聞いて、気になったことは質問する。

④ トークテーマについて自分の考えや意見を紙に書き、グループの人たちに自分の考えを話す。

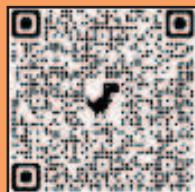
## 【当日のトークテーマ】

- ★今、頑張っていること、またはこれから頑張りたいことは？
- ★10年後の自分は何をしていると思う？
- ★自分が住んでいる地域(青谷中校区)のいいところは？
- ★自分って子どもだなあ、大人だなあと思うことは？
- ★働くってどういうこと？
- ★どんな大人になりたい？

## &lt;事後アンケートより抜粋&gt;

- (中学生) 初対面の人といろいろな話ができ、共感したことや初めて知ったことなどがあり、とても楽しかった。年代が違っても、仲良く話し合えたことが良かった。
- (大学生) 中学生にとっては少し大人な存在である大学生と、そこからもう少し歳の離れた大人と関わることにより、それぞれのものの見方・考え方にふれ、今後の参考になったのではないか。
- (地域の大人) 中学生が予想よりも活発に話をしていたのに感心した。青谷の未来は明るいと感じた。中学生と交流する機会がないのでどんな感じなのかと思っていたが、みんながしっかりと意見をもってたくましいなと感じた。

CHA<sup>3</sup>では、普段人前で自分の考えを発表することが苦手な生徒が、自信をもって考えを伝え、真剣に相手の意見を聞く姿や、自分が住んでいる地域の魅力をエピソードと共に積極的に語る姿などが見られました。また、生徒たちは幅広い世代の方々と出会い、さまざまな価値観に触れたことで、将来に対して前向きな気持ちになり、自尊感情にも高まりがみられたようでした。CHA<sup>3</sup>は、ふるさとキャリア教育及び地域学校協働活動を推進していく上で、とても効果がある取組となっています。

11月  
授業研究会等校内授業研究会等の  
情報はこちらから →エキスパート教員の  
公開授業はこちらから →